

飛翔

JA さわいせさき

2～3ページ

食料・農業・農村基本法で守る
食と農の未来 ～改正ポイント～

2025
2
Vol.384



後列左から 原 正幸さん・妻の友里恵さん
前列左から 父の忠雄さん・昂くん・承太郎くん・母のきよみさん・咲菜ちゃん
(表紙の紹介は裏表紙)



食料・農業・農村基本法で守る 食と農の未来

食料・農業・農村基本法とは??

食料・農業・農村基本法(以下「基本法」とは、農政の基本理念や政策の方向性を示すもので、1999年に制定されました。日本農業にとって基本の法律であり、様々な農業政策がこの基本法に基づいて実施されます。

基本法の理念

- ①食料の安定供給の確保
- ②農業の有する多面的機能の発揮
- ③農業の持続的な発展
- ④その基盤としての農村の振興

どんな理由で改正したのでしょひか??

農業の情勢は

1999年の制定当初から

予想がつかないほどの変化

基本法の制定からおおよそ四半世紀が経過する現在、国内では生産者の減少・生産基盤の脆弱化、農業に必要な肥料や資材費、家畜の飼料の高騰など様々な課題に直面しています。

これらの課題に対応するために令和4年9月以降、基本法の検証・見直しに向けた検討を行い、改正法は令和6年5月29日に成立し、6月5日に公布・施行となりました。



参考：食料・農業・農村基本法について／食料・農業・農村基本法の一部を改正する法律案の概要 (農林水産省HP)

今回の改正ポイントと

JA佐波伊勢崎が行う

取り組みについて

①食料の安定供給から 食料安全保障へ

○国民一人一人が良質な食料を安定的に得られる「食料安全保障」を柱として位置付けた。

○国民に対する食料の安定的な供給に当たり、農業生産の基盤などの確保が重要で、海外への輸出を図ることで、食料の供給能力の維持を図る。

○食料の合理的な価格形成については、食料の持続的供給が目的。そのため、生産コストなどを反映した価格形成の理解を消費者に得る必要がある。

JAの取り組み

○食料の生産供給基地として、首都圏から近い立地条件を活かした選果場の設置による、スケールメリットを活用した販売や加工業者との契約による安定供給。

○選果や出荷作業などを選果場が担うことで、収量の向上や面積拡大に寄与している。また、広域種子センターの運営により、優良種子の安定供給や米麦生産の発展を目指す。

○行政との農政懇談会を通じ、米麦種子の安定生産や品質向上を図るため、種子購入者に対する支援などを要望。



▲選果場レーン

②環境と調和のとれた 食料システムの確立

○農業生産活動や食品産業の加工・流通事業における、環境への負荷の低減を図る。

J Aの取り組み

○選果場の出荷者はエコファーマーを取得しており、化学農薬・肥料の使用を低減することでみどりの食料システム戦略に取り組んでいる。

○日本全国への出荷だけでなく県内出荷による輸送コストを抑え、フードマイレージを低くすることで、流通時の環境負荷の低減につなげている。

※フードマイレージ：食料の輸送によって発生する環境負荷を示す指標

○Jークレジットの推進。水田の干し期間を延長しガスの発生を抑え、その削減量をクレジットとして販売することで農家にも収益が還元される。

③人口減少下における農業生産の方向性を明確化

○人口の減少に伴う農業者の減少等が生ずる状況においても、食料の供給機能や多面的機能を發揮し、農業の持続的発展を図る。

○農業生産の方向性

「生産性の向上」

「付加価値の向上」

「環境負荷低減」

J Aの取り組み

○J Aが窓口となり、生産者が「野菜王国・ぐんま」総合対策(県単独補助事業)を活用した面積拡大や施設新設による生産基盤の構築の強化に取り組む。

○生産者のJ G A P 認証取得のサポートをし、販売先への信頼確保を図る。

○米ぬかを施用して栽培した野菜をJ Aの直売所ブランド「米ぬかそだち」とし、他の野菜との差別化を図る。また、管内産完熟堆肥を一定量必ず使用することで、環境への負荷の低減を図る。



▲米ぬかそだち

④人口減少下における農村の地域コミュニティの維持を明確化

○「農村の振興」の方向性として農村の人口減少など情勢が変化しても「地域社会の維持」を明記。

○農業生産基盤の整備・保全、農村との関わりを持つ者の増加に資する産業の振興を推進。

○交通や教育、文化など生活環境の整備、農福連携の向上などの総合的な推進。

J Aの取り組み

○農事組合法人のインボイス取得や経営の課題、今後の運営についての経営支援研修を法人ごとに行う。

○農事組合法人の担い手確保などの課題について、各法人の役員と意見交換を行い地域の方々と協力しながら課題解決に取り組む。

○農家の労働力確保のため、短時間のバイトを募集できるアプリの活用や農福連携による作業不足の解決に取り組む。

○管内の園芸協議会及び直売協議会の会員を対象に、農産物適正生産管理研修会を行い、農産物の適正使用や危害防止対策を呼びかけている。

○農家の負担である青色申告の支援を行い、費用など経営面で相談や提案を行っている。

参考：改正食料・農業・農村基本法の条文

／食料・農業・農村基本法改正のポイント／食料・農業・農村基本法の一部を改正する法律案の概要／知的財産の保護・活用の推進

(農林水産省HP)

未来の農業に向けたJ A佐波伊勢崎の取り組み



昨年は豪雨・高温・降雪の被害が管内でも発生し、全国的にも米が販売店から無くなり大きな話題となりました。これはまさしく気候変動が大きく影響を与える農業の縮図と言えます。農業は現在、大きな転換期を迎えており、「食料安全保障」などの実現に向けて、食料生産の意義や農畜産物の適正価格のあり方、持続可能な農業などについて、生産者だけでなく消費者の皆様にも理解を求め続ける必要があります。これからもJ A佐波伊勢崎は「地域に根差し広い世代の方に利用・必要とされるJ A」を目指し、未来に農業をつなぐために総合事業を活かして地域農業に貢献してまいります。

初出荷祝い抽選会



▲いせさき地区

1月4日、各営農センターで初出荷祝い抽選会が開かれました。初出荷に訪れた組合員619人が、新年を祝うくじ引きに挑戦しました。当選者の皆様、おめでとうございます。

本年もよろしくお願いたします。



▲あずま地区



▲さかい地区



▲たまむら地区



▲あかぼり地区



▲息子の小泉直広さん（左）

県枝肉共進会 管内生産者が最優秀賞

12月16日、群馬県JA肉牛肥育部連絡協議会は県食肉卸売市場で第30回肉牛枝肉共進会を開き、黒毛和種の部で小泉憲一さんが最優秀賞に輝きました。

共進会は肥育農家の飼養管理技術の向上や上州牛の品質向上を目的として行われています。今回は黒毛和種40頭、交雑種61頭が出品されました。

他にも黒毛和種の部で松原農園（株）が優等賞を受賞しました。おめでとうございます。

営農指導員連盟盟友大会

12月4日、JA群馬営農指導員連盟はホテルラシーネ新前橋で第67回JA群馬営農指導員連盟盟友大会を開き、優良営農指導員表彰を行いました。

優良営農指導員表彰は、15年以上農業団体に勤務し、営農指導員として10年以上の経験をもち、地区内農業の振興発展に寄与した指導員に送られます。当JAから1名が受賞しました。

【優良営農指導員表彰】

営農販売事業部 生産資材課長 細谷 高弘



きゅうり選果場利用組合全体検討会

12月19日、JA佐波伊勢崎きゅうり選果場利用組合は本店で全体検討会を開き、組合員ら31人が参加しました。

販売実績及び販売経過では近年の不安定な天候による作付けが遅れるなどの影響があり、前年より出荷量が減りましたが、価格は上回る状況だと報告されました。

取引市場からの意見・要望として、出荷の情報共有により、安定的な数量の確保により量販店など取引先増加を目指したいと説明がありました。



▲あいさつする高橋昇組合長



▲あいさつする千吉良彦組合長

なす選果場利用組合 ハウスなす栽培講習会・実績検討会

12月5日、JA佐波伊勢崎なす選果場利用組合は本店で栽培講習会・実績検討会を開き、組合員46人が参加しました。

当JAでは、伊勢崎地区農業指導センターと協力し「PC鶴丸」のハウス半促成栽培のポイントをまとめたポスターを作成しました。特に初期の樹づくりが重要となるので、定植後から収穫開始までの管理を中心に栽培の注意点などを共有しました。

実績検討会では、各市場が販売経過を説明し、組合員と意見交換をしました。



▲あいさつする畑裕樹部長

トマトセンター利用組合全体会議

12月20日、JA佐波伊勢崎トマトセンター利用組合は本店で全体会議（販売対策会議・出荷目揃え会）を開き、40人が参加しました。

会議では、令和7年度販売計画や産地・市場情勢、現物による目揃え（着色等）などが協議されました。また5つの市場が上州娘トマトの出荷基準や課題について説明しました。

今後の栽培管理について伊勢崎地区農業指導センターの担当者が説明し、樹勢を保つために開花した段階での摘花や摘葉の管理をするよう呼びかけました。

青年部とJA役職員との意見交換会

12月23日、JA佐波伊勢崎青年部は本店でJA役職員との意見交換会を行い、部員26人が参加しました。

意見交換会の開催は5年ぶりで、役員改選後は初めてです。青年部からは、生産者・生産量の減少を踏まえた具体的な対策や部員勧誘のバックアップ、売上データや通知の電子化などの質問・要望を伝えました。

高齢化により担い手不足が深刻化する中、これからの農業を担う青年部の意見をJA事業に取り入れ、生産者とJAが協力しながら地域農業振興を図っていきます。



辛味だいこん出荷目揃え会

12月11日、JA佐波伊勢崎園芸協議会辛味だいこん専門部会は、JAセンターさかいで辛味だいこん出荷目揃え会を開き、生産者13人が参加しました。

目揃えでは、葉も含めて傷みがないか、横縞が目立たないように良く洗うなど改めて出荷規格を確認し、見た目が白くきれいなものを出荷するよう呼びかけました。

また、伊勢崎地区農業指導センターの担当者が



今後の管理として、近年発生しやすい抽苔の仕組みや原因について説明しました。抽苔は発芽後に一定期間低温が続き、その後気温が高くなると発生します。具体的な対策として、被覆による生育初期の温度確保や晩抽性品種の導入などを紹介しました。

玉村地区農地維持に関する意見交換会

12月6日、当JAはたまむら支店で玉村地区農地維持に関する意見交換会を開き、農事組合法人の役員やJA役職員、関係機関など33人が参加しました。

意見交換会では、事前に行ったアンケートに基づいて、各法人の運営状況や課題などを共有しました。

玉村地区には11法人あり、70～80代以上の構成員が約6割を占めます。どの法人も構成員は減少見込みで、水田耕作面積を維持するためには担い手の確保が大きな課題となっています。現状は後継者がいない、育成も難しいという厳しい状況ですが、法人内の対策だけでなく地域の方々とも協力しながら課題解決に取り組んでいきます。



▲意見を述べる法人役員(左)

ブロッコリー&アレッタ収穫交流会

12月14日、生活協同組合コープぐんまは境地区でブロッコリー&アレッタ収穫交流会を開き、生協組合員の親子約40人が参加しました。

交流会は当JA・JA全農ぐんま・JA全農青果センター株式会社・コープデリ生活協同組合連合会が協力して行っており、「産地」と「消費者」をつなぐ貴重な場となっています。

収穫体験はJA佐波伊勢崎園芸協議会さかい支部一般野菜部会アレッタ部の手嶋裕一代表、JA佐波伊勢崎園芸協議会ブロッコリー専門部会の塩谷剛久部会長のほ場で行いました。他にも、アレッタの中華炒めやトマトスープの試食、JA職員による農産物クイズなどを行い、交流を深めました。



アレッタ中間出荷目揃え会

1月8日、JA佐波伊勢崎園芸協議会さかい支部一般野菜部会アレッタ部はJAセンターさかいで中間出荷目揃え会を開き、20人が参加しました。

今作から新規栽培者が増え、目揃えでは出荷時期が異なる頂花蕾と側枝の出荷規格を改めて確認し、規格統一を申し合わせました。

また、伊勢崎地区農業指導センターの担当者が、近年多発する露地野菜の鳥害対策として防鳥ネット設置などを呼びかけました。



第50回 玉村町しゅんぎく共進会

1月16日、JA佐波伊勢崎園芸協議会たまむら支部は、いせさき営農センターで第50回玉村町しゅんぎく共進会を開き、17点が出品されました。

共進会は地域の主要品目を支援するために玉村町が後援しています。伊勢崎地区農業指導センター・玉村町・JA全農ぐんまが審査員を務め、茎葉の長さ・葉の色沢・荷姿などを基準に審査しました。

入賞した品物はたまむら営農センターで展示し、生産者と共有しました。優等賞1席の玉村町長賞は、塚越早苗さんが受賞しました。

とうもろこし栽培講習会

1月15日、JA佐波伊勢崎園芸協議会あずま支部とうもろこし部会は、あずま営農センターで栽培講習会を開き、29人が参加しました。

講習会では、伊勢崎地区農業指導センターや種苗会社の担当者が生育初期の管理・病害虫防除・品種特性などを説明しました。昨年多かったアワノメイガやオオタバコガなどの害虫対策として、薬剤散布による適期防除に加え、交配終了後に雄穂を除去する「トッピング」も効果的と紹介しました。



▲あいさつする高橋武行部会長

▶おすすめ料理を紹介しました



「JAみどりの風」で ブロッコリー・アレッタをPR

群馬テレビ「JAみどりの風」で、管内のブロッコリーとアレッタが紹介されました。

〈似てる？似てない？ブロッコリーとアレッタ〉と題し、生産者の塩谷剛久さんや深町敦士さんのインタビュー、境地区の生産者による料理紹介などを行いました。（放送は終了しています）

JA佐波伊勢崎公式Instagramにも撮影風景を投稿していますので、ぜひご覧ください。

令和6年度冬季直売協議会栽培講習会

1月16日、JA佐波伊勢崎農畜産物直売協議会は本店で冬季栽培講習会を開き、直売所出荷者35人が参加しました。

今回はヒザワ種苗(株)の田島貴幸部長による栽培講習に加えて、荷造り講習も行いました。直販課の職員が講師となり、きれいに見える袋詰めのコツや品種が分かるシールを貼るなど、お客様が手に取りたくなるパッケージを意識するよう呼びかけました。



第11回 伝統食のつどい in たまむら

12月8日、NPO法人群馬の食文化研究会はたまむら支店で第11回伝統食のつどい in たまむらを開催しました。

玉村地区女性部も参加し、女性部員である当JAの原きよみ理事が地元の小麦粉でうどんを作り、参加者にふるまいました。また、からか〜ぜたまむら店が出店し、新鮮野菜や焼きたてのパンを販売しました。





レモンを丸ごと楽しむケーキ ウィークエンド・シトロン

材料【18×7×6.5cm パウンドケーキ型1台分】

- レモンの皮…1個分 ●卵…2個
- 無塩バター…100g ●グラニュー糖…80g
- レモン果汁…大さじ1
- A** ●ホワイトキュラソー(ブランデーも可) …大さじ1
- アーモンドパウダー…20g
- B** ●薄力粉…100g ●ベーキングパウダー…小さじ1/2
- C** ●粉糖…80g ●レモン果汁…大さじ1～大さじ1と1/2

下準備

- レモンの皮をすりおろし、果肉を絞って果汁を取る。●型にオーブンシートを敷く。●バターを常温において柔らかくしておく。
- オーブンは170℃に予熱しておく。●Cをだまの無いように混ぜてレモンアイシングを作る。

作り方

- ①ボウルにバターを入れ泡立て器で練り、グラニュー糖を加え白っぽくなるまで混ぜる。
- ②卵をよく溶きほぐし、①に少しずつ加えながらよく混ぜる。
- ③Aを加え、よく混ぜる。Bをふるい入れ、レモンの皮を加えて練らないようにゴムべらで混ぜる。
- ④型に生地を入れ表面を平らにし、型を2～3回軽く落として空気を抜く。170℃のオーブンで約15分焼いたら中央に切り込みを入れさらに160℃で約30分焼く。取り出して網に乗せ十分に冷ます。
- ⑤オーブンシートを敷いた上に網を乗せ、シートをはがした④を乗せる。レモンアイシングを表面にかけて常温で冷まし、表面が固まったらできあがり。

わたしの おすすめ料理

伊勢崎市境上武士

森村 祐子さん

Let's enjoy cooking!!



★ワンポイント
アドバイス★

計量をしっかりとし、Bを入れたら切るように混ぜるのが良いです。

2月

うたの ひろば

五村地区女性部短歌会

閑散と	墨絵の如し	沼はねむりて桜咲くまで	原 静子
難聴に	僅かな救い	眼鏡無くても	重田きみ江
	新聞を	どうか読める	

JA佐波伊勢崎女性組織協議会 クリスマスケーキづくり

12月20日から25日にかけて、各地区の女性部でクリスマスケーキづくりを行いました。

クリスマスケーキづくりは大人気の企画です。いちごやクリームがたっぷりの特製ホールケーキを1人1台作りました。

デコレーションにこだわった個性豊かなケーキができ、参加した部員も大満足でした。



▲12月25日 境地区女性部

JA佐波伊勢崎女性組織協議会 寄せ植え講習会

11月11日から12月12日にかけて、各地区で寄せ植え講習会を開きました。

前橋の花木流通センターから講師を招き、お正月にあわせた季節の寄せ植えを作りました。パンジー・ガーデンシクラメン・葉ボタンなど寒さに強い様々な花を用いて、素敵な寄せ植えができました。

部員だけでなく地域の方々も参加し交流を深めました。



▲12月6日 玉村地区女性部

女性部員募集!

農家の女性も、農家でない女性も、大歓迎です。
JA佐波伊勢崎企画課 0270-27-3033 までお問い合わせください。

俳句

けんかしてマスクの中で吹きぬ

おわりそも言ふ町医師や春近し

伊勢崎市戸谷塚町 樋口 幸子

正月に逢った姿の晴れ姿

正月のあいさつ俺が尻起こす

伊勢崎市境下武士 星野幸次郎

おごそかに引きひ開くや初みくじ

大声で声を出しきる歳末戦

伊勢崎市境下武士 遠藤 勝治

掬ひみて十指に零る春の水

待春の雨の匂える田となりし

伊勢崎市境下武士 中島 薫

厳寒の大地に育て夢希望

一礼をして迎えたる初日の出

兵庫県明石市 小田 慶喜

若菜野やゆつくり歩む夫婦の背

孫に買ふ春着楽しく手に取りぬ

兵庫県明石市 小田 和子

川柳

秋最中ジュータンごとく足ふわり

伊勢崎市今泉町 松島 敦美

知人好き言葉が出ない見てるだけ

あの人を見れば見る程自分変え

伊勢崎市境下武士 星野幸次郎

財布中頭も空っぽ歳の暮

大谷の盗打随一四字熟語

伊勢崎市境下武士 遠藤 勝治

新年の大地踏ん張り膝屈伸

またひとつ年取り老いるお正月

兵庫県明石市 小田 慶喜

楽しみは孫から届く初電話

半分となりし年賀状の束

兵庫県明石市 小田 和子

短歌

日だまりに腰を下ろして口ずさむ

遠き思い出昭和の歌を

吾が心いたわる如く吹く風に

時を止めたし月香る夜は

伊勢崎市波志江町 小倉キヌ子

白き山寒さ身にしむ

こたつこいしく円くなるさま

伊勢崎市今泉町 松島 敦美

正月のあいさつ顔見ず

この一年も宜しく願う

正月を迎え年明け楽しみは

いろいろありて一年多忙

伊勢崎市境下武士 星野幸次郎

夜長し指折り数え詩づくり

文につまりていつの間夢に

一年の汚れを落としさつぱりと

伊勢崎市境下武士 遠藤 勝治

白衣観音光り輝く

白衣観音光り輝く



静まれる境内が湧く舞である

「門外不出」で「剣の舞」とふ

剣唾へ踊りつぐ時観客の

拍手一層強く増したり

迫力は綱切り前の「綱渡り」

前後の獅子が「頭」振り合ふ

玉村町上新田 新井 和夫

冬天に風あげをせし子らの声

元気に里を駆け抜けてゆく

寒月を仰ぎながらの露天の湯

躓きながら生きる楽しみ

兵庫県明石市 小田 慶喜

双六に家族集まり大騒ぎ

など無く各自スマホのゲーム

風の中寒くはないか雪だるま

隣の地藏様はカチコチ

兵庫県明石市 小田 和子

「古きつくばひ」

伊勢崎市戸谷塚町 飯島美枝子

つくばひの古きをみつけ雨垂れの

穿ちに据えて風情佳きかな

知り合ひの庭師の欲がりし手水鉢

一縷の夢に拒みて長し

今此処に夢は叶ふて嬉しかり

焼杉わが家に似合ふと眺む

読者の声

飛翔12月号に寄せられた
おたよりを紹介します。

先日、からかづけたま
むら店で、どろろそばを
作るためにやまといもを
購入しました。
ねばりけがあり、とて
もおいしかったです。こ
れからも新鮮でおいしい
野菜の販売を楽しみにし
ています。(Yさん)

直売所をご利用いただ
きましてありがとうございます
です！直売所では新鮮
な旬の野菜などの農畜産
物を豊富に取り揃えてい
ます。店舗ごとに特色が
あり品揃えも異なります
ので、店舗巡りもおすす
めです。また、からかづ
けたまむら店では店内で

作った焼き立てパンを販
売し、定期的に新作パン
が登場しています。見か
けた際にはぜひ食べてみ
てくださいね。

若手職員紹介のコーナ
ーに知った職員が掲載さ
れると見入ってしまいま
す。若手には頑張っ
て欲しいです。(Nさん)

元気印への感想ありが
とうございます。このコー
ナーでは名前の通り元気
な若手職員の紹介をして
いきますので、これからの
JAの将来を担っていく若
手職員への応援をよろしく
お願いいたします！

編集後記

今回は初めて特集のペー
ジを作成しました。テーマ
は、昨年改正した食料・農
業・農村基本法についてで
す。できるだけ分かりやす
く読みやすいように、改正
した点を4つのポイントに
分けて、そのポイントごと
にJA佐波伊勢崎が行って

いる事業などを紹介する形
式にしました。特集を作成
するために編集担当も勉強
をしたのですが、内容が難
しくて理解するのが大変で
した。特集の作成を経て、
これからの農業について非
常に大切な法律が変更にな
ったのだなと感じました。
ぜひ読んで頂けたらと思
います。

さいとう みき
あかぼり支店 **齋藤 美樹** (32歳)



【仕事内容】 長期・短期共済の新契約、保障内容の変更、各種共済金の請求、相続の手続きなど共済事務全般を担当しています。

【仕事でうれしかったこと】 仕事の知識や人脈が広がったことが嬉しかったです。また、お客様や職員から頼りにされていると感じた時にやりがいを感じます。

【仕事で心がけていること】 組合員やお客様一人一人に寄り添い、笑顔で丁寧かつ迅速に対応することです。また、職員同士の情報連携やコミュニケーションを大切に、お互いに仕事をしやすい環境を作り、サポートし合うようにしています。

【今後の目標】 今後も様々な知識や経験を積み重ねて、組合員やお客様はもちろん、職員からも頼ってもらえる存在を目指していきたいです。



あかぼり支店の齋藤美樹です。入社して10年目になります。好きな野菜はブロッコリー、モロヘイヤ。趣味はドライブです。



あかぼり支店からのお知らせ

JAでは、自動車共済・年金共済のお見積りをして頂いた方に先着で「NEWマグネット付3WAYライト」をプレゼントしています。ライト・赤色点滅灯として非常時・災害時に大活躍！！先着順ですのでお早めに。また、相続対策・万一の保障・老後保障など様々なご相談をお待ちしております。あかぼり支店までお気軽にお問い合わせください。

所属長より

齋藤担当は真面目な性格で、仕事ぶりも長期・短期共済全般に精通しており、職員からも先輩後輩問わず頼りにされる存在で、安心して業務を任せることができます。今後も当JAの職員として更なる成長と活躍を期待しています。

あらい はやと
あかぼり営農センター **新井 隼人** (23歳)



あかぼり営農センターの新井隼人です。入社して1年目になります。好きな野菜はトマト・ナス。趣味はゴルフです。

【仕事内容】 生産者の方々が営農センターに出荷した野菜の荷受け、送り先の市場への分荷を行っています。また、担当品目の栽培講習会や目揃え会などを開いています。

【センターでの担当品目】 イチゴ、白菜

【仕事でうれしかったこと】 生産者の方々に仕事とプライベート関係なく話しかけて頂いたり仕事を頼んで頂いた時はうれしかったです。

【仕事で心がけていること】 仕事で分からないことは上司に、野菜のことでは職員や生産者の方に直接聞くなど、分からないことを分からないままにしないように心がけています。

【今後の目標】 仕事や野菜について、もっと理解を深めて職員や生産者の方から信頼してもらえるようになりたいです。



所属長より

新井担当は、現在イチゴ・白菜の担当として業務を行い組合員とコミュニケーションを取っています。赤堀出身ということもあり、組合員から親しまれています。今後は知識を習得し、業務に励んで欲しいです。

あかぼり営農センターからのお知らせ

2月は、きゅうり苗の推進を行っています。また、2月28日(金)は決算棚卸のため、資材館はお休みとなります。

『家族経営協定』で

働きやすい環境作りを!



家族経営協定とは

農業経営に携わる家族全員が、意欲とやりがいを持って参画できる魅力的な農業経営を旨し、経営方針や役割分担（作業や簿記記帳等）、就業環境（休日や給料等）などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものです。

締結の流れ

① 家族全員で話し合う

現状や課題を整理し、今後の経営方針や就業環境等の要望を出し合います。

② 対策を考える

課題の解決方法や目標を実現するための具体的な対策を立てます。

③ 協定を結ぶ

話し合った内容を家族経営協定書として文書にし、調印します。

④ 協定の実行と内容の見直し

定期的に協定が実行されているかを見直し、必要に応じて新たな内容を追加し、再締結しましょう。

制度上のメリット

家族経営協定を締結することにより、認定農業者制度で

マンガでみる家族経営協定



(イラスト/S.Y)



おいしく食べて冬の健康な体づくり

もう2月ですが、正月に食べ過ぎて顔や体がむくんだり、体が重く感じたりすることはありませんか？正月太りで体重が戻らないという悩みを抱える方も少なくありません。短期的な体重増加の主な原因は、塩分過多によるむくみです。今回はむくみ解消に役立つお薦めの栄養素を二つ紹介します。

■ カリウム

カリウムは、体内の余分な塩分を排出する働きがあり、むくみ解消効果が期待できます。雑煮、おせち料理などをたくさん食べて、塩分の取り過ぎが原因で体がむくみ、体重が増えた方にはお薦めの栄養素です。カリウムは、かんきつ類の果物、ジャガイモ、切り干しだいこん、アボカド、トマト、キュウリなどに多く含まれています。水に溶け出しやすい性質があるため、野菜からカリウムを取る場合は、生野菜、汁物などにして汁ごと取るのがお勧めです。また、食後のデザートにミカンを食べるのも良いでしょう。

■ アルブミン

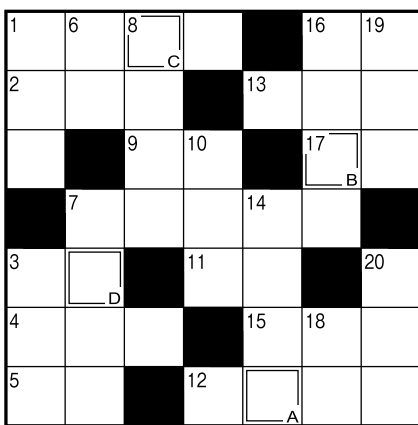
血液に含まれるタンパク質の一種アルブミンには、血液の濃度を調整する働きがあります。血管内のアルブミン量が少ないと血管の外に水分がたまり、結果としてむくみやすくなります。アルブミンは、肉、魚、卵、乳製品、大豆製品などのタンパク質に多く含まれますので、毎食タンパク質を取ると良いでしょう。体重を気にしておかずを減らしたり、欠食するのは控えましょう。

また、張りのある美しい肌づくりに欠かせないコラーゲンもタンパク質の一種です。美肌づくりにも欠かせない栄養素のため、タンパク質を食事で取れなかったときは、おやつにヨーグルト、チーズを食べると良いでしょう。

カリウム、アルブミンを取ることも大切ですが、塩分の取り過ぎもむくみにつながります。減塩も意識して過ごしてください。



クロスワード



■ 12月号の答え

ゲイシユン

ヨコのカギ

- ① 3月14日は——デー。バレンタインデーのお返しを渡すのによい日です
- ② お手洗いともいいます
- ③ バレーボールのセッターが上げるもの
- ④ 梅は咲いたか、——はまだかいな
- ⑤ 日本一長いものは367kmあります
- ⑦ イソップ——源氏——
- ⑨ 失敗は成功の——
- ⑪ 水戸、尾張に並ぶ徳川御三家
- ⑫ 羽ばたいて飛べるほ乳類
- ⑬ 漢字では「梭子魚」などと書く魚
- ⑮ 草餅によく使われる植物
- ⑰ お彼岸に参る人も多いところ
- ⑱ 弾力がある、噛んで食べる菓子

タテのカギ

- ① ——造って魂入れず
- ③ ニワトリの頭についています
- ⑥ エックスの次です
- ⑦ 赤の広場やクレムリンがあります
- ⑧ 卒業証書の——は筒よりファイルが主流になりました
- ⑩ 脚本に書かれているセリフ以外の文章
- ⑭ 地球を暖める天体
- ⑯ ひな祭りのお吸い物につきものの貝
- ⑰ ひな祭りに飾る花
- ⑲ 春の景色がぼんやりとして見える原因
- ⑳ 細川たかしのヒット曲「——の渡し」

ご応募方法

- クロスワードを解き、A～Dの順に文字を並べてください。
- ハガキに ①答え ②住所③氏名 ④年齢 ⑤職業 ⑥電話番号 ⑦本誌の感想やイラストなどをご記入のうえ、〒372-0812 伊勢崎市連取町3096-1 J A 佐波伊勢崎広報係宛にお送りください。
- ※投稿・応募いただいた方の個人情報はプレゼントの発送、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。前記の目的以外には使用いたしません。
- 締め切りは3月10日(月)(当日消印有効)
- クイズ当選者には、抽選で5名の方に直売所利用券をプレゼント。

当選者発表

12月号クイズ当選者は次の方々です。おめでとうございます。
【応募総数11通】()は町名、敬称略
 塩野ますみ (伊勢崎市堤下町)
 松本すみえ (伊勢崎市下道寺町)
 須田しなむ (伊勢崎市小泉町)
 斉藤 方子 (玉村町飯倉)
 堀内 千秋 (玉村町後箇)

事業の概要

令和6年12月末日現在

項目	金額	前年対比
貯金高(実残)	1,837億7,086万円	99%
貸付金高(実残)	509億491万円	99%
長期共済保有高	3,820億8,688万円	97%
購買品供給高	41億1,839万円	109%
販売品販売高	98億8,054万円	105%
項目	員数・金額	前月対比
正組合員	5,992人	-6人
准組合員	13,758人	21人
総組合員	19,750人	15人
出資金	24億5,377万円	-187万円

理事会

12月26日、本店で理事会が開催され、次の事項が協議されました。

【協議事項】

- 令和6年度仮決算監事監査一般指摘に対する回答書について
- 令和6年度第3・四半期実績検討書について

【報告連絡事項】

- 令和6年度仮決算監事監査現地指摘に対する回答書について
- 11月末組合員数及び出資金額一覧表について
- 11月末金融事業部実績について
- 11月末共済推進実績について
- 11月末営農販売事業部実績について
- 11月末生活事業部実績について
- 11月末資産運用事業部実績について

【その他報告連絡事項 21件】

※理事会の議事録は支店で閲覧できます。
支店長にお問い合わせください。

直売所通信

Vol. 47

今回は
直売所
あずま店

新商品情報

管内産コシヒカリのパックごはん

「佐波伊勢崎ごはん」



美味しさの
3拍子

- ① もっちり食感が
たまらない!
- ② 冷めても柔らか!
- ③ 甘みがしっかり
感じられる!

管内の
全6直売所で
販売しています!

通常価格
¥180(税込)



インフォメーション

2月22日～2月27日まで **決算売り出し** を
行います! 新鮮な野菜を豊富に取り揃えて
皆様のご来店をお待ちしております。



からか～ぜ パート募集!

お気軽にお問い合わせください。

(お問い合わせ先)

JA佐波伊勢崎直販課 ☎ 0270-27-5565

※2月28日(金)は決算棚卸のため全店舗お休みとなります。ご了承ください。

JA佐波伊勢崎は「スマート申告」を推奨しています!

1月14日、本店で広報ステッカーの交付・出発式を行いました。

伊勢崎税務署の小池基之署長が重田茂代表理事組合長へ「スマホ × 確定申告 スマート申告しませんか?」と書かれた車両用ステッカー40枚を交付。当JAのイメージキャラクター「ベジ太くん」や国税庁e-Taxキャラクター「イータ君」も参加し、会場を盛り上げました。

当JAでも青色申告会でe-Taxの普及に取り組んでおり、各事業所にも配布し、ステッカーを貼りつけたJA車両が管内全域でPRを行います。



2025年は国際協同組合年です!



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

国連は1年を通じて世界共通のテーマを定める「国際年」を制定しており、2025年を国際協同組合年と決めました。2012年に続いて2回目で、同一の国際年が定められることは異例です。協同組合の振興やSDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けて、国連は協同組合を評価・重視し、期待を寄せています。

日本国内の協同組合においても事業・活動をさらに発展させ、協同組合に対する認知度を高めていく絶好の機会と捉え、関係機関と協力しながらこの機会を活かしていきたいと考えています。国際協同組合年は、協同組合の事業を利用する方、活動に参加する方、そして働く方を広げるチャンスとも言えます。

協同組合は人々がたすけあい、みんなの幸せの実現に向けて、より良い暮らしや社会を目指す自主・自立の経済組織であり、運動体です。当JAも農業協同組合としての役割や価値を再認識し、持続的な組織活動や地域とのかかわりをより一層深めていきます。



JA佐波伊勢崎 JA佐波伊勢崎は2025国際協同組合年に賛同しています

~JA佐波伊勢崎のラジオ番組~

「JAくらしナビ」

毎週土曜日に放送中!

JAくらしナビ~あなたの暮らしの応援団~

毎週土曜 午前10:30~11:00

いせさきFM(76.9Hz)で、JA佐波伊勢崎のレギュラー番組を放送中! 旬の農畜産物情報やJA佐波伊勢崎の最新情報、暮らしに役立つ情報をお届けしています。

また、SpotifyやPodcastでも配信中! 詳しくは、いせさきFMのX(旧Twitter) (@Isesakifm_FM769) をご覧ください。



上州焼き饅祭にJA職員が参加

上州焼き饅祭はいせさき初市の日（1月11日）に行われるお祭りです。伊勢崎神社で「福饅神事」を行い、直径約55cmの大きなまんじゅうを焼きます。

年男年女が思いを込めた字をまんじゅうに書き込む「願い文字の儀」に当JA職員が参加し、年女として長沼日依さんが「健」を書きました。

焼きあがったまんじゅうは「福分け」として無料配布しました。



▲願い文字を書いた長沼さん（左）

助けあい組織「たんぽぽの会」

令和6年度 寄付金のご紹介



当JAの助けあい組織「たんぽぽの会」へ、管内よりご寄付をいただきましたので、ご紹介いたします。（敬称略）

- 第一工業株式会社…………… 100,000円
- さかい地区チャリティーゴルフ大会… 66,499円
- あずま地区チャリティーゴルフ大会… 10,800円
- 伊勢崎地区組合員ゴルフコンペ…………… 45,500円

ご寄付は同会の活動資金として活用させていただきます。

ありがとうございました。

【助けあい組織「たんぽぽの会」】

同会は、助けあい活動を通じて心豊かな地域づくりと高齢者への生活支援を行うことを目的とし、地域貢献活動を中心に行っています。



3
March
2025
松平健

特集
そろそろ考えたい
わたしの
家族の介護

藍の生薬を
楽しむつ
未体験の
卵料理

JAグループの
ファミリー
マガジン

お申し込み 総務部 企画課 ☎27-3033 またはお近くの支店窓口へ

税務無料相談 《開催場所：JAラ♡ラ♡タウン》 予約制

税理士法人いずみ	3月 6日(木)	4月 3日(木)	午後2時～
千川会計事務所	3月19日(水)	4月17日(木)	午後2時～

法律無料相談 《開催場所：本店》 予約制

田中・二階堂法律事務所	3月12日(水)	4月 9日(水)	午後1時～
-------------	----------	----------	-------

各支店窓口へお気軽にご相談ください。
（※当日3日前までにお申込みください。）

年金無料相談 予約制

JAラ♡ラ♡タウン	3月 9日(日)	午前9時～午前11時まで
-----------	----------	--------------

お気軽にご相談ください。
ご予約は ☎0270-20-1234まで
（※当日3日前までにお申込みください。）

農業者年金 老後生活への備えは十分ですか？

老後の備えは **国民年金 + 農業者年金！**

- ◆支払った保険料は**全額社会保険料控除の対象！**
- ◆**運用益は非課税！**◆農業経営の状況に応じて**保険料を増額し節税額をアップ！**

※詳しくは、お近くの農業委員会、またはJAへ



わたしの生きがい

伊勢崎市間野谷町

新井 渉さん

子どもの野球観戦

小学4年生の頃に兄弟で野球を始めたのがきっかけで、現在も地元チームで野球を続けている新井渉さん（51歳）。普段はハウスでなすやほうれんそうなどを栽培する農家として忙しい日々を送っています。息子の颯真くん（12歳）が小さい頃からキャッチボールなどを通して野球に触れ、最近「赤堀クラブ」のピッチャーとして頑張る息子を応援することが楽しみだといいます。

抜チームでは、父母会の会長も務めて息子の野球活動を支えています。「1日かかると試合などで大変だけど、子どもの試合を観戦するのが楽しみだから農家の仕事を頑張れる」と笑顔で話してくれました。

これから中学校に進学する颯真くんは「走攻守の三拍子揃った選手を目指したい」と目標を語ってくれました。息子に対して渉さんは「当時の自分より上手いと思う。中学生になっても応援し続けていきたい」と期待を込めて話します。これからも颯真くんの成長を見守っていきます。



◀新井渉さんと颯真くん

役員のとびら



統括常務理事
川端 芳明

春の訪れ

二十四節気の立春は、暦上で春が始まる日とされ、今年は2月3日になります。早春を代表する花木の梅は、中国原産で古くから私たちに親しまれています。

東風吹かば にはほおこせよ 梅の花
あるじなしとて 春な忘れそ

平安時代の貴族、菅原道真が詠んだ歌で、身に覚えのない罪で大宰府に左遷されるとき、自宅で詠んだ別れの歌であり、東風が吹く春には忘れず花を咲かせ、大宰府まで梅の香りを届けてほしいとの、思いが込められています。

天候や品種により異なりますが、梅は1月下旬から咲き始めるので、白や紅が鮮やかな花を、香りを頼りに探してみたいかがでしょうか。今はまだ小さい蕾の桜や桃の開花が、待ち遠しい季節になりました。

表紙紹介



▶荷作りをする正幸さん

表紙の写真は玉村町でブロッコリーやカリフラワー、ネギなど年間通じて40品目以上を栽培する原さんご家族です。市場出荷の他、敷地内の直売所で様々な野菜販売もしています。

正幸さんは、昨年75歳を迎えた父の忠雄さんの引退をきっかけに就農しました。就農後は、お子さんと公園などに出かける時間が増え、妻の友里恵さんは「仕事に熱心で、子どもとの時間を大切にしている」と笑顔で話します。また、忠雄さんは「周囲に同年代の仲間がいるから、繋がりを大切にしていってほしい」と期待を込めて話してくれました。

今後は、ネギの面積拡大や春夏野菜にも取り組むという正幸さん。「将来は畑で採れた野菜を使ったカフェを開きたい」と意気込みを話してくれました。